

事後評価結果（平成30年度）

担当課：島根県土木部道路建設課
担当課長名：宇田川 裕之

事業名	地域高規格道路 <small>さかいみなといずも</small> 境港出雲道路 一般国道431号 <small>ひがしはやしぎ</small> 東林木バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	島根県			
起終点	自：島根県出雲市矢尾町 至：島根県出雲市東林木町			延長	4.2km				
事業概要									
一般国道431号東林木バイパスは、地域高規格道路「境港出雲道路」の一部として、山陰道とともに宍道湖・中海圏域の8の字ルートを構成する道路である。									
事業の目的・必要性									
地域高規格道路「境港出雲道路」の一部として、広域的なネットワークを形成するとともに、現道の線形不良及び交通混雑の解消を図ることを目的としている。									
事業概要図									
事業の 効果等	事業期間	事業化年度	H5年度	用地着手	H9年度	供用年	(当初) H25年度 / H41年度 (実績) H25年度/—	変 動	1.0倍
		都市計画決定	—	工事着手	H13年度	(暫定/完成)			
	事業費	計画時 (暫定/完成)	(名目値)129億円 / 154億円 (実質値)124億円 / 149億円	実績 (暫定/完成)	(名目値)133億円 / — (実質値)128億円 / —			変 動	1.03倍
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)	8,200~10,900台/日 / 18,600~20,600台/日	実績 (暫定/完成)	4,681~10,317台/日 / —			変 動	57~95%
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)		45.2 km/h → 48.8 km/h (供用前年次) H22年度 (供用後年次) H27年度		交通事故減少 (供用前→供用後)	2件/年 → 1.5件/年 (供用前年次) H24.1~H26.3.27 (供用後年次) H26.3.28~H27.12			
	費用対効果 分析結果 (当初)	B/C	0.9	総費用 162億円 事業費：158億円 維持管理費：3.1億円	総便益 138億円 走行時間短縮便益：115億円 走行経費減少便益：15億円 交通事故減少便益：8.5億円	基準年	平成21年		
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	0.9	総費用 211億円 事業費：207億円 維持管理費：4.4億円	総便益 189億円 走行時間短縮便益：166億円 走行経費減少便益：17億円 交通事故減少便益：6.2億円	基準年	平成30年			
事業遅延によるコスト増	—		費用増加額	—		便益減少額	—		
事業遅延の理由									

	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
	客観的評価指標に対応する事後評価項目
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の分散による混雑緩和。 【現道（国道431号）の交通量は整備前と比べて約2割減少し、交通が分散。】 ・圏域の一体化への効果。 【現道とバイパスと合わせた断面交通量は最大で約3割増加し、広域ネットワーク形成を支援。】 ・主要渋滞箇所の渋滞緩和。 【交通の分散により、主要渋滞箇所である荻野交差点の渋滞長は最大約600m減少。】 ・道路利用者の安全性が向上。 【現道区間で4か所あった急カーブ（R<150）は、バイパスではすべて解消（最小曲線半径R=420）し、道路利用者の安全性向上に寄与。】 ・救急医療施設への所要時間短縮、搬送時の負担軽減。 【バイパスは急カーブ（R<150）がなく、患者の負担、救急隊員の負担の軽減にも寄与。】 ・観光地へのアクセス性向上。 【国道431号沿線には「出雲大社」をはじめとした主要観光施設が豊富にあり、バイパスの整備は観光地へのアクセス性向上や時間短縮に寄与。】
	その他評価すべきと判断した項目
	・特になし
事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目
	〈環境への影響〉 <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 〈事前に講じた環境への対策〉 <ul style="list-style-type: none"> ・特になし
	その他評価すべきと判断した項目
	・特になし
社会経済情勢の変化	
〈社会経済状況及び事業環境等の変化〉 <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年4月～平成28年3月に「出雲大社「平成の大遷宮」」が行われた。 ・平成28年5月2日に大型商業施設（延べ床面積7万m²）が開店した。 〈関連計画・関連事業の状況の変化〉 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年3月に中国横断自動車道尾道松江線（中国やまなみ街道）が暫定2車線で全線開通した。 	
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性	
<ul style="list-style-type: none"> ・現道の線形不良及び交通混雑解消等の事業効果を発揮しており、改めて事業評価を実施する必要はない。 	
同種事業の計画・調査のあり方や事業評価の見直しの必要性	
<ul style="list-style-type: none"> ・同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性はない。 	
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。